

# 加入 推進

## 鳥取県 倉吉市農業委員会

### 積極的な声かけなどで

### 新規加入者の獲得めざす

倉吉市農業委員会（山脇優会長、農業委員19人、農地利用最適化推進委員9人）は、ターゲットを絞って声かけを積極的に行い、昨年度は7人の新規加入に結びつきました。



倉吉市農業委員会のみなさん。左から農業委員会事務局長の内川啓二さん、山脇優会長、事務局主任の中嶋美佐子さん

倉吉市は鳥取県のほぼ中央に位置しており、日本海にそそぐ天神川を中心とする河川の周辺には豊かな水田地帯が広がっています。また、南西部の大山山麓にかけては火山灰地帯となっており、肥沃な畑作地帯を形成しています。

市内11地区を5班に分けて  
加入対象者を絞り込みが奏功

倉吉市農業委員会では、市内11地区を5班に分けて活動しています。

農業委員や農地利用最適化推進委員は、研修会などで農業者年金の制度について学びます。さらに加入推進対策会議で加入対象者を把握して活動方針を決めます。資料を地区ごとに準備して、担当地区の委員が資料を配ったり、声掛けをするようにしています。農業者年金に興味を持った局の職員と一緒に戸別訪問をして詳しい説明をするようにしています。

加入候補者名簿は、認定農業者と認定新規就農者がいれば随時、追加して、11月までに作成しています。特に、加入促進月間（12月～翌年1月）の期間中は、この名簿に掲載され

新規加入者数の実績（男女別）  
（単位：人）

	全体	男性	女性
2017年度	3	3	0
18年度	1	1	0
19年度	1	1	0
20年度	3	3	0
21年度	0	0	0
22年度	7	6	1

ている農業者に対して、委員たちが啓発活動を進めています。

コロナ禍を乗り越え  
更なる飛躍めざして

委員のみなさんは、日頃から新規に就農した人を中心に声をかけています。

近年は、コロナ禍で思うように加入推進活動ができませんでした。しかし、昨年からの活動制限が緩和されるようになり、声かけや戸別訪問など積極的に活動できるようになりました。その結果、昨年度は7人もの新規加入に結びつくことができました。今年度は、5月から新型コロナウイルスがインフルエンザと同じ5類への移行により、強力に活動を展

開している」と農業委員会では期待しています。

農業委員会事務局では、認定農業者や認定新規就農者の確認会などの機会に、農業者年金のパンフレットを渡したり、特に政策支援の対象となる農業者に対しては政策支援に関する説明をしながら農業者年金をPRしています。

このような積極的な活動によって、認定農業者が興味を持ってくれたり、チラシのポスティングで家族から進められてという農業者もいます。さらに、ラジオの農業者年金のコマーシャルを聞いて、「こんないい制度なら話を聞きたい」と農業委員会に来る農業者もいるようです。農業委員会事務局主任の中嶋美佐子さんは「農業者年金に興味を持って話を聞きに来られる農業者が増えました」とPRの効果について話してくれました。

### 保険料の社会保険料控除と 国の政策支援に魅力感じる

柴田 行紘さん

柴田行紘さん(35)は、昨年8月、認定農業者になりました。その時、妻



農業者年金に加入した柴田行紘さん

の彩さんと夫婦で農業者年金にも加入しました。柴田さんは西郷地区で、彩さんと母方の祖母の美根子さんと3人で、大原トマト20アールとタマネギ苗7.5アール、キュウリ6アール、葉物野菜を栽培しています。柴田さんは国民年金だけでは老後に不安を感じていました。ほかのものにも入っていました。農業者年金の制度について詳しく説明を受けて加入しました。「支払った保険料全額が社会保険料控除の対象になる」と、国からの補助が受けられることが決め手となりました」と話してくれました。

### ターゲットに合わせPR 全世帯に農委会だよりを配布

農業委員会事務局でも農業者年金制度のPRとして、加入推進名簿に

掲載されている農業者にパンフレットを送っています。

農業委員会が発行している「くらよし農業委員会だより」(全4ページ、オールカラー)を市が発行している広報に差し込んで、市内1万7000戸に配布しています。この農業委員会だよりには農業者年金制度のPRを必ず掲載してPRしています。山協会長は「非農家の人にも農業や農業者年金について知ってもらおうと、見やすい紙面づくりを心がけています」と話してくれました。

農協とも加入推進候補者についての情報を共有したり、農協の各支所の窓口には農業者年金のパンフレット



倉吉市の広報に差し込んで市内の全戸に配っている農業委員会だより

を置いてもらうなど、連携をとっています。農業委員会事務局長の内川啓二さんは「農業者は農協に行かれることが多いので、農業者年金を知ってもらうためにもパンフレットを置いています」と話します。

山協会長は「農業者年金の加入推進は日頃の活動の積み重ね。今後毎月1人でも多くの新規加入をめざして、委員、事務局が一体となって、活動を進めていきたい」と今後の活動への抱負を語ってくれました。

(山協優会長は8月22日、一般社団法人鳥取県農業会議の会長に就任しました。)



年金加入対象者に配布しているチラシ等